

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 118	提案機関名 一般社団法人 神奈川県養豚協会
要望問題名 多産系母豚から生産された子豚の飼養管理技術の検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 TPP への対応を視野に入れ、県内の一部の養豚農家では、生産性の向上を目的に輸入凍結精液を活用し、多産系母豚を作出し、産子数を多く生産させる事例がみられている。しかしながら、多産系母豚から生産された子豚の飼養管理技術は、まだ、確立されておらず、試行錯誤を繰り返しながら肉豚出荷を行っているところである。 多産系母豚から生産された子豚の飼養管理には、産子数が多いため、きめ細かい高度な技術が必要とされており、哺乳中の事故や補助飼料の必要性など発育へのいろいろな要因が考えられる。 そこで、生産性の向上を図るため導入した多産系母豚から生産された子豚の飼養管理技術について、母豚の飼養管理も含めご検討いただき飼養管理マニュアルの作成をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	系統豚を利用した高品質豚肉生産技術の確立 (H15～32)		
対応の内容等	ご指摘のとおり、多産系母豚の利用については、県内で一部に利用している生産者もおおり、まだ取り組み事例は少ないですが、今後、活用されていく重要な技術と考えます。民間の持つ優良多産系種豚の情報収集に努め、種豚の精液等を用いて「ユメカナエル」との交配により、本県での飼養に適した改良型多産系種豚の開発に取り組んでいきます。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			